



平成 28 年 4 月 14 日

各 位

会 社 名 株式会社エッチ・ケー・エス  
代表者名 代表取締役社長 長谷川 浩之  
(JASDAQ・コード 7219)  
問合せ先 管 理 部 長 高根澤 進  
電 話 0544-29-1111

特別利益の計上および平成 28 年 8 月 期第 2 四半期累計期間業績予想数値と実績数値との差異、  
ならびに通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、下記のとおり特別利益を計上するとともに、平成 27 年 10 月 15 日に公表いたしました平成 28 年 8 月 期第 2 四半期累計期間の数値と、本日公表の実績数値との差異につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

併せて、平成 28 年 8 月 期通期業績予想につきましても、当第 2 四半期累計期間の業績を踏まえ、下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別利益の計上について

当社および国内子会社の生産設備更新に伴い、経済産業省からの「平成 26 年度地域工場・中小企業等省エネルギー一設備導入促進事業補助金」他 計 156 百万円を特別利益「補助金収入」として計上いたしました。

2. 業績予想との差異について

平成 28 年 8 月 期 第 2 四半期累計連結業績予想数値と実績値との差異(平成 27 年 9 月 1 日～平成 28 年 2 月 29 日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	親会社株主に 帰属する四 半期純利益	1株当たり 四半期純利 益
前回発表予想(A)	百万円 3,300	百万円 50	百万円 50	百万円 40	円 銭 10.33
今回実績(B)	3,496	177	172	207	55.95
増減額(B-A)	196	127	122	167	
増 減 率(%)	6.0	254.3	244.6	417.6	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成 27 年 8 月 期第 2 四半期)	3,071	△23	52	19	5.03

差異の理由

連結売上高につきましては、国内アフターパーツの売上高は、マフラー、エンジンパーツが好調に推移したことにより前回予想を上回りました。海外アフターパーツの売上高は、北米向け中心に増加し前回予想を上回りました。また、アフターパーツ以外では特にCNG事業で計画外の売上があったことにより、前回予想を大幅に上回りました。その結果、当第 2 四半期連結累計期間の売上高は 3,496 百万円(前回予想比 196 百万円の増加)となりました。

損益面につきましては、売上高の増加により売上総利益が増加したこと、および上半期に予定していたイベント費用が下半期に持ち越されたため広告宣伝費が減少したこと等により、営業利益は 177 百万円(前回予想比 127 百万円の増加)、経常利益は 172 百万円(前回予想比 122 百万円の増加)となり、上記の補助金収入の計上により、親会社株主に帰属する四半期純利益は 207 百万円(前回予想比 167 百万円の増加)となりました。

3. 通期業績予想の修正について

平成 28 年8月期 通期連結業績予想数値の修正(平成 27 年9月1日～平成 28 年8月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する四 半期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 7,000	百万円 400	百万円 400	百万円 300	円 銭 77.51
今回修正予想(B)	7,300	420	420	370	99.99
増減額(B-A)	300	20	20	70	
増減率(%)	4.3	5.0	5.0	23.3	
(ご参考)前期実績 (平成 27 年8月期)	7,026	248	346	228	59.13

修正の理由

通期業績予想につきましては、売上高は当第2四半期累計期間における増加および今後の売上高の伸長を加味し、当期の予想数値を7,300百万円(前回予想比300百万円の増加)に修正しております。

損益面に関しては、下期に持ち越された費用の計上が予想されますが、営業利益、経常利益ともに420百万円(前回予想比20百万円の増加)に、また、上記の補助金収入の計上を加味し、親会社株主に帰属する四半期純利益は370百万円(前回予想比70百万円の増加)に修正しております。

(注)なお、上記の予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて判断した見通しであり、実際の業績は今後起こりうる様々な要因により異なる可能性があります。

以 上